


事業計画書

事業名	『まつどちゃん』シリーズ製作 事業
団体名	まつどアソビティ

事業概要	
<p>松戸の子どもたちが、市内各所を冒険しながら、視聴者に松戸の魅力や情報を届ける一連のYouTube番組『まつどちゃん』シリーズを製作し、配信する。企画・制作に際しては、市内から出演希望者・製作協力者・情報提供者等を募り、自治的で協働的な運営体制を築く。</p>	
<p>取り組もうとする松戸市のテーマ（課題）</p>	<p>① 《子どもたちにとって魅力と価値のあるまちへ》</p> <p>今年度の「こども家庭庁」の発足に象徴されるように、近年、子どもの意見に耳を傾け、より子どもが幸せに暮らせる社会づくりにいかそうとする（子どもアドボカシー）意識が高まっている。これは、本市においても重要なテーマであり、0～14歳で約5万5000人いる松戸の子どもたちが幸せに暮らすことができる地域づくりは、我々、松戸の大人の責務である。</p> <p>② 《こどもの「あそび」を支えるまちづくり》</p> <p>本団体は、松戸市の子どもたちの「遊ぶ権利」を保障し、子ども達が豊かにあそぶことができる地域を目指して活動しているが、そのためには子ども達に「あそび場」を用意するだけでは十分ではないことがわかってきた。イベント開催や子育て環境の部分改善的な取り組みだけではなく、子どもを取り巻く地域社会全体が、かれらの自然なあそびを大切にす意識と習慣を持ち、地域全体にあそびを見守り・支える風土が根付くことこそが、子ども達の「あそび支援」のもう1つのあり方であると考えます。</p>
事業の目的	<p>本事業で製作するのは、まちの人々から寄せられた情報（冒険のタネ）をヒントに、松戸の子どもたち（まつどちゃん）が冒険に出かけるドキュメンタリー番組である。</p> <p>本シリーズが子どもたちの主体的な「冒険（＝松戸をあそびまわる）」を軸に置くのは、結果としてそれが「子どもアドボカシー」の最良の手段だと考えるからである。子どもは「意見」という方法ではなく、「反応」し「行動」することで自己を表現する生き物である。我々大人は、『まつどちゃん』たちによる松戸の街の冒険を支援し・見守る（視聴する）ことを通して、子ども達が感じ取る松戸の魅力に共感し、子どもたちが自分の生きるまちに求めるものに気づくことができるかもしれない。</p> <p>本シリーズの制作に際しては、企画から製作に至るまでを、有志市民による自治的で協働的な体制で行う。そのようにして製作するこのYouTube番組を、市民が多様な形で子ども達の「冒険（あそび）」を支えながら、子どもと一緒に新たなまつどを作り出すまちづくりの象徴として地域に根付かせ、よりよいまちの未来を創出する震源地として機能していくことを目指したい。</p>

<p>事業内容</p>	<p>1 事業内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・出演者（主に小学生） ・紹介コンテンツ（人・もの・場所） ・演出協力（楽曲・作品提供）等の募集 ・有志市民と組織する製作委員会による「冒険のタネ」の企画 ・撮影（冒険会議/冒険ロケ） ・編集 ・配信 ・広報 ・感想等の回収（アンケートフォーム） <p>配信は、本団体が運営する松戸キッズチャンネルにて行う。</p> <p>https://www.youtube.com/@matsudokids/featured ▶ </p> <p>本団体運営メンバーは、上記の事業の執行をとおして、多くの市民が多様な特技・専門性・職能等を発揮して番組制作に関わることができるようプロデュースする。（例：番組出演・撮影協力・情報提供・楽曲提供など）</p> <p>また、本団体が主催する「あそびやしき」等のあそび場とコラボレーションし、対面型とオンラインとのハイブリットな地域のあそび環境のモデルケースをつくる。</p> <p>番組の告知や、情報（冒険のタネ）及び出演者等の募集、感想の回収等は、本団体の SNS や市内公共施設等に設置するパンフレットにて行う。</p> <p>2 スケジュール</p> <table border="1" data-bbox="443 1120 1396 1429"> <thead> <tr> <th>実施月</th> <th>具体的な取り組み</th> <th>実施体制、対象、場所など</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>4月</td> <td>企画の公表・出演者等の募集開始</td> <td>実施体制：団体スタッフ 対象：松戸市民</td> </tr> <tr> <td>5月～3月</td> <td>10 回程度の撮影を行い、30 本程度の動画（10 分～15 分）に分けて配信する。</td> <td>実施体制：団体スタッフ、有志市民 場所：（撮影）各ロケ地 （編集）事務所 対象：松戸市民</td> </tr> </tbody> </table>	実施月	具体的な取り組み	実施体制、対象、場所など	4月	企画の公表・出演者等の募集開始	実施体制：団体スタッフ 対象：松戸市民	5月～3月	10 回程度の撮影を行い、30 本程度の動画（10 分～15 分）に分けて配信する。	実施体制：団体スタッフ、有志市民 場所：（撮影）各ロケ地 （編集）事務所 対象：松戸市民
実施月	具体的な取り組み	実施体制、対象、場所など								
4月	企画の公表・出演者等の募集開始	実施体制：団体スタッフ 対象：松戸市民								
5月～3月	10 回程度の撮影を行い、30 本程度の動画（10 分～15 分）に分けて配信する。	実施体制：団体スタッフ、有志市民 場所：（撮影）各ロケ地 （編集）事務所 対象：松戸市民								
<p>事業の目標</p>	<p>① シリーズ動画の総再生回数 2 万回</p> <p>この数値は、広く本事業の目的と価値を伝え、その後、より多くの市民を巻き込んだ企画に成長していくための中間目標として設定する。</p> <p>② 制作に関わる市民 100 人</p> <p>ここには、出演者、番組への情報提供者・制作協力者などを含む</p>									
<p>今後の展望</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・松戸市内・外での認知度をあげ、かつ、本事業のコンセプトの共有を行い、より多くの多様な市民で作り上げる番組に成長させていく。 ・YouTube チャンネルの収益化や、番組スポンサーの確保をとおして、収支の自立を目指す。 									

事業の予算概要

【収入】

(単位：円)

	科 目	金 額	積算内訳
団 体	団体拠出金	¥ 40,000	事業費の一部を団体の会計より拠出
	自己資金の合計額 (A)	¥ 40,000	
市	市民活動助成金 (B)	¥ 100,000	
合計額 (C) = (A+B)		¥ 140,000	

【支出】

	科 目	予算額	積算内訳
助 成 金 の 交 付 対 象 経 費	報償費	¥ 70,000	出演者 (子どものみ) (1,000円×40名) / 撮影助手 (3,000円×10名)
	消耗品費	¥ 10,000	パネル材 (5,000円)、松戸市地図 (4,000円)、筆記具 (1,000円) 等
	印刷製本費	¥ 40,000	ポスター制作費 (200部/5,000円) パンフレット印刷費 (5,000部/35,000円)
	対象経費の合計 (D)	¥ 120,000	
そ の 他 経 費	撮影機器	¥ 20,000	機器・器具等の購入
	その他経費の合計 (E)	¥ 20,000	
合計額 (F) = (D+E)		¥ 140,000	

【チェック項目】

- 1 助成金 (B) が対象となる経費 (D) 欄の90%以内、自己資金 (A) 欄が対象経費 (D) 欄の10%以上であること。
- 2 助成金 (B) が、スタート助成の場合は1事業あたり10万円以内、ステップアップ助成の場合は1事業あたり30万円以内であること。